

南山国際 中・高等学校

個性を重視した自由な表現力を育成



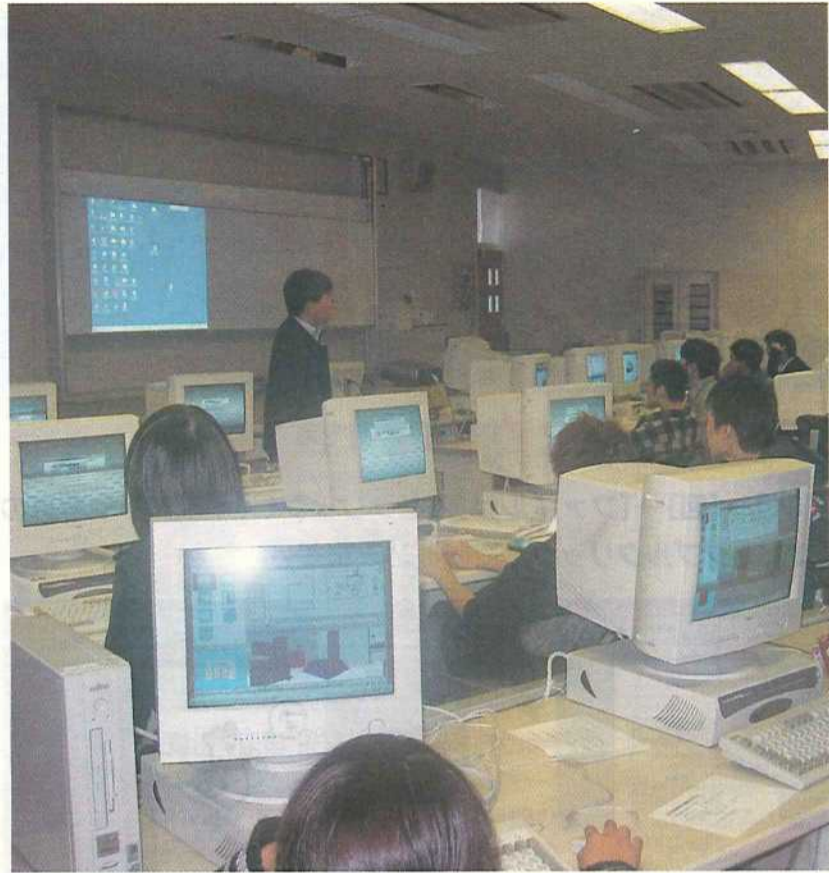
南山国際高等学校 西亮先生

愛知県豊田市にある南山国際中学校・高等学校は、生徒さんが、帰国子女と日本在住の外国人のみという国際色が豊かな学校です。

制服もなく、自由な雰囲気がある同校では、どのような情報教育が行われているのでしょうか。

「好きな家」を作る授業

この日は、生徒さんがコンピュータで自分の好きな「家」を作成しています。「生徒たちには設計図などはあえて描かせていません。トイレ・台所・お風呂・玄関を必ずつけること」といった最低限のルールを守った上で、頭の中で考え



▲流線型に配置されたコンピュータ室で学習する南山国際高等学校の生徒さん

たものをそのままコンピュータで好きなように表現させています。それが生徒の喜びに変わるといいます。

確かに授業の中でも「先生、空の色を変えたいんだけどどうしたらいい?」「電気はどうやれば付くんですか?」と楽しそうに生徒さんたち。質問に答えるため、西先生は声のする方へ走り回って大変です。

「生徒が作った家のデータは学校のサーバーに保存されているので、それを私が見て評価します。この授業ではそれに加えて、生徒が自分が作った家をアピールするポイントを三つ選んで入力し、家のデータを貼り付けてA4判二枚のレポートにまとめます。生徒にとって『自分が作った』だけでなく、『いろいろな人に見られる』という意識を持つことも大切です」

大事なのは課題のテーマ

以前からコンピュータの学習は行っていますが、今の情報教育は、昔使っていたカリキュラムとはまったく内容が違いますから、

学年ごとの学習

中学校では技術家庭科の技術で週二時間、高等学校では、「二年生が『情報科』の授業として週二時間学び、三年生では選択科



▲「空を星空にもできるよ」。生徒さんの個性を尊重しながら熱心に指導される西先生

目となります。

中学校の入学時から、ワード、エクセル、パワーポイントだけでなく、コンピュータでできるいろいろなことを体験させるようにしています。

例えば、パワーポイントで何か制作したい、その中にさし絵を入れたい、自分の写真を入れたい、という時、画像処理のことも知らなくてはならない。その学年ごとに「このままだとできるだろう」ということを考えて、毎年いろいろなフリーのソフトなどを工夫して使います。

生徒たちは、興味を持って「プレゼンテーション(発表)の機会もあります。」

読者へのメッセージ

「窓の外を見たら」という言葉を、生徒によく言っています。たまにはコンピュータの画面から顔を上げて周りを見渡してみるといい景色をたくさん見ることができると思っています。案外、身近におもしろい物がいっぱいあるのに見えていないかもしれませんよ。

(財)全情協の パソコン基礎検定試験

めざせ!! パソコン名人!

本検定は、小・中学生を対象として、正しいタイピング技術からワープロ、表計算、インターネットに至るまで、将来の日本社会に貢献するパソコン技術の基礎を修得していることを認定するものです。

試験実施日 第15回 平成17年3月20日(日)
 申込期間 2月17日(木)～2月25日(金)
 検定料 1級～3級 1,570円 4級 1,050円

CBTシステム方式での試験となります。

試験形態はコンピュータを活用したCBT(Computer Based Testing)方式。インターネット上で受験環境を提供する、最新のデジタル試験方式です。

全情協のパソコン技能検定 検定合格者 70万人突破!

現在全国に1,500会場以上! 検定試験実施会場募集中!

※会場募集については当協会HPをご覧ください。

●検定の詳細・申し込みについてはフリーダイヤルまでお問い合わせください。

0120-77-8001

http://www.joho-gakushu.or.jp

文部科学大臣許可法人 財団法人全日本情報学習振興協会

〒101-0061 東京都千代田区三崎町3-7-12 清話舎ビル5F
 TEL 03-5276-0030 FAX 03-5276-0551 E-mail:joho@joho-gakushu.or.jp